

45期定期総会議案書

議 事

第1部

議長選出、書記任命

第1号議案	44期の総括、45期の活動方針	会長
	44期各部の活動報告、45期の活動方針	各専門部長
第2号議案	会費納入ルールの変更	事務局長
第3号議案	個人情報取り扱い指針の改訂	事務局長
第4号議案	例会案内新フォーム導入の説明	機関紙部
第5号議案	44期決算報告、45期予算案	事務局長
第6号議案	役員選出	会長

第2部

役員投票結果の発表	会長
役員担当の発表	会長
新旧役員挨拶	

委任状は添付資料最終頁をご利用ください。

2024年6月16日(日) 開場 13:00 開会 13:30 閉会 16:00

場所 市立こうべまちづくり会館2階ホール(元町駅西口から西へ10分)

兵庫県勤労者山岳連盟加盟

神戸中央山の会

KOBE CHUO ALPINE CLUB since1980.9.1.

(目次)

第1号議案	3
44期の総括	3
45期の活動方針	4
各専門部報告	4
山行部	4
ハイキング部	5
組織部	6
事務局	6
教育部	7
機関誌部	8
自然保護部	9
安全対策部	10
第2号議案	11
会費納入ルールの変更	12
第3号議案	
個人情報取り扱い指針の改訂	12
第4号議案	
例会案内新フォーム導入の説明	13
第5号議案	14
44期決算報告	14
45期予算案	15
第6号議案	
役員選出	
委任状	16

第1号議案

44期の総括

今期は会員数の増加が顕著で有りました。145名から169名に増加しました。組織部の目標であった160名を超えております。これは、皆さんがクリーンハイクやお試しハイクに於いてビジターさんへの温かいお声掛けがあったからだと思えます。

今期の事故については、沢登りで女性が手を骨折する大きな事故が有りました。報告によると事故後の対応が良かったと思えました。1～2人の山行では対応しきれなかったと思えます。ある程度の参加者がおればこそです。

自動車修理積立制度について、今期に1件の事故が有り少額ですが支出する事ができました。

自然保護部では『こうべ森の文化祭2023』に出店しました。フェスティバルに来られた多くの人に神戸中央をアピールできました。又、森林整備事務所を通じ神戸市との繋がりも出来ました。勤労者山岳会だけではなく神戸市の「神戸登山プロジェクト」にも関係して行きたいと思えます。桜広場の追加植樹も行いました。今年は枝垂れ桜も開花したと聞いております。

教育の面ではハイキング部と山行部の間を補う中級レベルの教育も行いハイキングから山行部へのステップアップがよりスムーズに行えつつ有ります。

セクハラ委員会を立ち上げました。これはセクハラの抑止力になり、女性を大切にするという会の方針をより堅固なものにしました。

多彩な例会企画が有りました。城巡り、京都ブラブラ、お花ハイク、仁ちゃんに行くレアな六甲、各種教室例会、岩、アルパイン等です。座学も各種行いました。テレビモニターを購入しWi-Fi環境も設置したのでこれからの座学もインターネットやプレゼンテーションを使いより解りやすくなっています。

県連主催の六甲全山縦走も実施され、神戸中央は一般110名の受入、会員44名の参加者が有りました。他、大会運営、エイド等にもスタッフとして参加しております。

45期基本方針

1. 拡大しつつある会員のまとまりを保つための会の「インフラ」構築に努めます。
2. 「安心・安全」登山を推進する為に安全教育・訓練に注力します。
3. 山が有ることに感謝し、ホームグラウンドである六甲山の自然保護に努めます。
4. 多彩な例会企画を立ち上げ、全ての会員が楽しめる様にします。
5. 会員には会活動に於いて例会や各種の係に自主的な関わりを持ってもらうようにします。

各専門部報告

山行部

第44期活動報告

例年通り、縦走、岩、沢、雪山等の各種山行や、登山教室等の教育活動の企画および実施に注力した。

1. 例会、自主、個人山行の企画と実施

		例会	参加人数	自主山行	参加人数	個人山行	参加人数
縦走	44期	11	66	16	56	9	12
	43期	13	74	14	41	5	5
	42期	13	78	15	32	6	8
岩	44期	49	378	110	329	22	24
	43期	39	251	82	248	16	32
	42期	28	217	71	212	27	58
沢	44期	6	57	4	12	0	0
	43期	3	36	0	0	0	0
	42期	2	16	3	11	0	0
雪山	44期	18	80	4	14	1	1
	43期	13	68	5	18	0	0
	42期	25	127	3	11	1	1
海外	44期	0	0	0	0	0	0
	43期	0	0	0	0	0	0
	42期	0	0	0	0	0	0
合計	44期	84	581	134	411	32	37
	43期	68	429	101	307	21	37
	42期	68	438	92	266	34	67

2. 山行部登山教室

前期(夏山)は、受講生4名にて実施した。修了山行:北アルプス「西穂～ジャンダルム～奥穂～前穂」

後期(雪山)は、受講生2名にて実施した。修了山行:北アルプス「龍王岳東尾根」

3. 安全登山の推進

「岩登り山行の指針」を運用することで安全登山を推進した。

4. 会備品の点検活動

山行部会開催時にテントやロープの点検活動を実施した。

5. 1日クライミング体験教室

一般向けの岩登り体験教室を開催した。参加者の方より、高い評価を頂いた。

6. 外部クライミング講師によるクライミング講習会を企画した。(6/29、30の2日間で開催予定)

7. 岩登り座学、沢登り座学テキストを作成した。

8. 山行部費購入品

①エスパーステント一式 ②テント補修テープ ③エスパーステント修理費 ④無線機

第45期活動方針

1. 無事故を最優先目標として活動する。
2. 縦走、原登、岩登り、沢登り、雪山の例会企画を行う。
3. 「岩登り山行の指針」の運用

「岩登り山行の指針」の周知と実践に注力し、「各人の技術に応じた岩登り」をテーマに安全登山を推進する。また、「岩登り山行の指針」を進めていくうえで修正・改善が必要な個所は適宜対応する。

4. ハイキング部活動への積極的参加

山行部への活動に協力していただくと共に、ハイキング例会への参加及び、ハイキング例会CLを担当して頂くよう呼びかける。

5. 新規山行部例会CLへの積極的なサポート

経験者がサポートを行うことで、新しい方が山行部の例会のリーダーを担当し易い環境を整える。

6. 登山装備(ロープ、無線機など)の充実

ハイキング部

第44期活動報告

第44期は多くの方が入会され、例会も活気のあるものとなりました。

1. ハイキング部会を年4回行い、向う3か月の例会企画を行いました。
2. 夏山アルプス例会を多く企画しました。
3. ステップアップ講座修了生でリーダーをしていただく同期チームも4期目になり、新しいリーダーが増えてきました。

4. 例会回数と参加者数

	例会企画数 (回)	例会実施数 (回)	中止数 (回)	会員参加数 延(人)	ビジター 延(人)	計参加人数 延(人)	自主・個人 実施(回)
44期 (2023.5~ 2024.4)	277	231	46	2388	167 友の会 26	2581	87
43期 (2022.5~ 2023.4)	236	152	84	1532	83 友の会 3	1596	72
42期 (2021.5~ 2022.4)	236	152	84	1532	83 友の会 3	1596	72

(一日登山教室、各種教室を含む)

第45期活動方針

1. 多様な例会を企画し、誰もが参加しやすい例会づくりに努めます。
2. 会員各層にハイキング例会を担当していただくようお願いしていきます。
3. 教育部、山行部、組織部と協力して各種講座の実施に参画します。
4. 教育部と協力してハイキングリーダー、スタッフの育成に努めます。

組織部

第44期活動報告

1. 会員数は145名から169名。43期より24名増。
2. 12月17日に納山祭、4月7日に新入会員歓迎会を実施。
3. 新入会員と経験の浅い会員を対象とした一日登山教室を4月14日に実施。(今回はビジターなし)
4. ビジター参加の例会に組織部員が参加し、ビジターさんのフォローを実施

日時	内容	参加者数	備考
12月17日	納山祭	64名	
4月7日	新入会員歓迎会	59名	うち新入会員14名
4月14日	一日登山教室	27名	会員10名ビジターなし

44期会員推移

入会者 32名	富岡延代	大森幹治	岡本洋子	北村智子	澤村摩耶	酒瀬川珠代
	大橋沙矢加	穀内聡子	西澤晴美	弘津真子	福本さおり	谷田浩
	朴忠植	竹川麻由美	ラビクレティ	時枝愛子	北岡正樹	高橋宙希
	大槻くるみ	近藤恭子	柳麗芳	奥永学	清水知美	蔭山豪一
	中島和子	小寺卓	小村和也	和田明子	菅野正彦	長西重和
	菅田大介	浜平智子				
退会者 8名	中村博幸	三角明美	水野律	井上智子	橋本幸治	奥村隆啓
	渡辺和美	中島久子				

第45期活動方針

1. 現在の会員数維持に努める。
2. 納山祭、新入会員歓迎会及び会員親睦目的の例会を実施する。
3. 一日登山教室を実施。
4. 入会者が退会者にならないよう努力にあたる。
5. 退会者の人数を減らす。

事務局

44期活動報告

活動方針

- ・情報公開を進め、透明性のある会運営を心がける(適正財政運用と情報開示)
- ・引き続き「会方針」の実現のために課題調整と解決に取り組む

1、主な会運営

- (1)年齢制限の設定
 - (2)セクハラに対する指針の制定
 - (3)個人情報保護を強化
 - ・CL用会員名簿のパスワード変更と閲覧許可者洗い替え
 - ・個人情報文書を廃棄(紙→データ)
 - ・会事務所の鍵変更
 - (4)2/4全体集会開催(ヒヤリハット事例、新例会案内フォームの説明、45周年記念行事、等)
- 2、新入会員研修を実施 10/1、1/20
 - 3、専門部会等への参加

45期活動方針

- 1、情報公開を進め、透明性のある会運営を心がける(適正財政運用と情報開示)
- 2、引き続き「会方針」の実現のために課題調整と解決に取り組む。

教育部

第44期活動報告

① 各種教室・講座を開講し、会員のレベルアップに努めました。

講座	月/日	場所	内容		受講人数
夏山登山教室	5/18	神戸市立総合福祉センター	座学	夏山の心得・装備	21名
	6/1	神戸市立婦人会館		地図・計画書・応急手当	22名
	6/15	神戸市立総合福祉センター		歩行・食料・確保	20名
	5/28	六甲山頂	実技	トレ	18名
	6/10	有馬三山		歩荷トレ	18名
	6/24	行者尾根		歩荷トレ	20名
	7/9	荒地山		岩場歩き	雨天中止
	7/23	芦屋地獄谷		岩場歩き	12名
	7/30	黒岩尾根		歩荷トレ	14名
	8/4-8/6	燕岳		修了山行第1弾	6名
	8/25-8/28	槍ヶ岳		修了山行第2弾	7名
中級登山教室	7/1	西山谷		実技	受講生中心に計画立案
	7/22	武奈ヶ岳	1名		
	7/29-7/30	大普賢岳	1名		
	8/4-8/6	燕岳	夏山登山教室スタッフ		1名
	9/15-9/18	白根三山	修了山行		1名
雪山ハイキング講座	12/7	こうべ市民福祉交流センター	座学	雪山の心得・装備・食料	17名
	12/23	蓬萊峡	実技	アイゼントレ	13名
	1/14	赤坂山		雪山歩行	13名
	1/21	蓬萊山		天候不良中止	
	1/27	高清水トレイル			14名
	2/3	比良釈迦岳		修了山行	11名
ハイキングのためのロープワーク講座	10/29	菊水ルンゼ	実技	ロープワーク講習	ス9名、受6名
	11/19	菊水ルンゼ		ステップアップ講座(ロープワーク編)のスタッフ	ス11名
	11/23	水晶谷		ロープワーク実技	ス8名、受4名
	12/2	大月地獄谷			ス7名、受5名
ステップアップ講座(ロープワーク編)	11/19	菊水ルンゼ	実技	ロープワーク実技	受5名
ステップ	4/4		座学	CLの心得・計画書	15名

講座	月/日	場所	内容	受講人数	
アップ講座	4/11	神戸市立総合福祉センター事務所		応急手当	9名
	4/25	会事務所		計画立案	11名
	4/13	大岩岳	実技	読図	12名
	5/11	1班:行者尾根		修了山行	3名
		2班:六甲最高峰			4名
		3班:小野アルプス			2名
	4班:大原山・神津嶽	3名			
5/18	市ヶ原	ロープワーク編	11名(内、今期受講生9名)		

- ② 夏山登山教室は受講生 26 名(会員 10 名、ビジター16 名)でスタートし、21 名が修了しました。ビジターの内 12 名が会員になりました。
- ③ 中級登山教室は、受講生 1 名が修了しました。また夏山登山教室のスタッフとして参画しました。
- ④ 雪山ハイキング講座は受講生 23 名でスタートし 16 名が修了しました。近年の雪不足から実技行先として高清水トレイル、比良釈迦岳を新たに加えました。
- ⑤ HL ロープワークは 6 名が受講し、ハイキング例会 CL のための基本的なロープワークを開講。またステップアップ講座(ロープワーク編)のスタッフとして参画しました。
- ⑥ ステップアップ講座は 16 名が受講しました。今年度から実技にロープワーク編を加えました。
- ⑦ 会員数拡大に対応するため、各部及び事務局と連携し各種教室・講座の受入れ・教育体制の充実を図りました。
- ⑧ 各教室・講座の講師及び CL の謝礼金に関する取決めについて、運営委員会に諮り「決まりごと」として整備しました。

第45期活動方針

- ① 各種教室・講座(夏山登山教室、中級登山教室、雪山ハイキング講座、ステップアップ講座、HL ロープワーク)を開講します。
- ② ハイキング部、山行部、組織部及び事務局と連携・協力し、会員の登山技術向上、リーダー育成に努めます。
- ③ 夏山登山教室は、受入れ体制を維持するため、第45期は会員限定で開催する。
- ④ ステップアップ講座(ロープワーク編)の開催は、複数回として会員のスキルアップを図ります。

機関誌部

第44期活動報告

- ① 前総会等のアンケートより、会の情報取得はスマホ・PCを多くの方が使用しているとの結果、そして今後さらにスマホの使用割合が増え、PCの所持は減っていくことが予測されます。また近年の例会増に伴う作業量の増加により、作業負担の軽減が直近の課題であるとの状況を踏まえ、Googleサービスを用いた“例会案内 新フォーム導入”について、Webサイト改編チームを立ち上げ、この1年間検討・準備を進めてきました。
この新フォームは、機関誌部での例会案内作成編集作業だけでなく、CLの例会案内入力、専門部での取りまとめの負担も軽減されます。多くの会員が無理なく使用でき、継続性を備え、修正も容易で印刷も可能なことを開発の目標に置きました。
開発の手順、改編チームによるシステムの“基本フォーム作成”→運営委員会での中間報告→各専門部会で検証・課題の抽出→全体集会での説明→使用マニュアル作成→6月総会での説明→7月新フォームの導入を目指しています。

- ② ヤマレコの内容を充実させて例会記録としての活用の検討については、来期に繰越します。
- ③ HPを活用した例会活動の充実は着実に図られてきていると考えられ、会員数は期初145名から今年5月時点で169名に拡大となりました。
- ④ 機関誌部員の固定化・長期化が課題である中、すずの子制作に新規メンバーの拡充がはかられました。例会案内の編集担当・・・3名増(2名減)、すずの子編集担当、・・・6名増

第45期活動方針

- ① 例会案内 新フォーム運用後の経過観察と定着化のフォロー、その他のすずの子編集にかかわる負担軽減対策の検討など。
- ② ヤマレコの記録内容を充実させ、山行計画時の参考資料及び、会の歴史を刻む重要な史的側面に沿った作成手法について検討する。
- ③ HPの活用方法を検討し、会の活動・運営を更に充実させる。
- ④ 会のインフラである機関誌関連業務をムリなく継続するため、幅広い会員が協力できるようなプロセス・システムづくりを行う。

自然保護部

44期 活動報告

活動目的:会員の「心のふるさとの山」でもある六甲山の限りある自然を守り、後世に残す

活動内容:1, クリーンハイク 2, 森守ボランティア(登山者として出来る登山道の整備) 3, 自然観察
4, プルトップ回収 5, こうべ森の文化祭

1、クリーンハイク(兵庫の山からゴミを一掃する運動) 8月を除き毎月開催

担当:久貝壽祈さん、藤戸里香さん

クリーンハイクは会員交流の場です。

44期クリーンハイク参加人数とゴミの量 2023年6月～2024年5月

月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	4月	5月	合計
会員	46	47		44	38	43	45	38	30	47	48	34	460
一般	3	8		2	4	5	2	5	1	3	1	4	38
合計	49	55		46	42	48	47	43	31	50	49	38	498
ゴミ量	3	5		4	6	10	5	6	3	3	4	8	57

40期～44期のクリーンハイク参加人数とゴミの量

期	会員	V	合計	量	月数	期	会員	V	合計	量	月数
40期	428	23	451	60	10	43期	388	36	424	88	11
41期	231	10	241	28	7	44期	460	38	498	57	11
42期	279	18	297	42	8						

・10月1日に桜谷分岐からいつもの桜谷と徳川道、12月3日に天狗道入口からいつものトゥエンティクロスと天狗道、の2コースに分かれてゴミ拾いを行いました。

・1/7下山時に分岐で道迷いがあり連絡が取れなかったので無線機を1台購入。来期1台購入予定。

・ビジターさんに声掛けしやすいように、名札を購入する。

2、森守ボランティア

・登山道の整備

作業内容:登山道整備(地蔵谷入口手前の登山道の丸太の取り替えと設置、トゥエンティクロスの渡渉箇所の石並べ、モリアオガエル池と溝の土上げ)、草刈り、植樹、紫陽花剪定、倒木撤去、通報(トイレ使用状況)を行いました。

・また昨年植樹した木が枯れた為、ナツツバキ2本とヤマボウシ1本を森林整備事務所から提供を受け植樹しました。大きな苗でした。

・4/26神戸市建設局公園部森林整備事務所の森守ボランティア打ち合わせ会出席
作業内容と参加者

作業内容	作業回数	作業日	参加のべ人数
草刈・剪定	8	6/7、7/2、7/6、7/19、8/2、9/10、 10/4、5/15	57
植樹	1	3/3	4
登山道整備	5	11/15、12/6、1/10、2/7、4/10	52
森守打ち合わせ会出席	1	4/26	1
合計	15		114

参加者：田中清隆、高橋靖雄、田丸善行、蔡錦龍、原田勝次、川井孝、河尻重和、藤戸里香、西川紀子、中島まり子、中島久子、八木寛、三浦寛治、都司元晴、北岡正樹、竹川麻由美、野々脇千紗、久貝壽祈、佐々木枝理子、田崎哲聡、田中菜穂子、澤村摩耶、岡田直子、坂本千代子、越智尚美、小島恒夫、奥永学、岡部久高、山口恒子、川井三子、菅野正彦 31名

3、自然観察・西川さんを中心にハイキング例会時に花の観察を行いました。

4、プルトップ回収・担当：柳仁鉉さん

回収場所を「朝日新聞販売所に直接届ける」、「事務所に置く」、以外にクリーンハイク時に自然保護部に預ける、としました。またプルトップを回収していることを知らない人もおられるので、すずの子に掲載しました。柳さんが朝日新聞社に届けています。

39期	13 kg	42期	6.32 kg
40期	4.21 kg	43期	9.01 kg
41期	7.84 kg	44期	11.05 kg

ドラム缶一杯300kg(その時の相場が変わる)で車椅子1台

5、「こうべ森の文化祭 2023」10月29日、18名参加

神戸中央山の会の日頃の活動を紹介。ヤマメシ、ヨガ等盛況でした。

45期活動方針

- 兵庫の山からゴミを一掃する運動、クリーンハイクに取り組みます。
- 森守ボランティア活動に取り組みます。
- 自然観察を行います。
- プルトップ回収を引き続き行います。
- 「こうべ森の文化祭」に参加して「神戸中央山の会」の活動を紹介します。

安全対策部

I. 第44期活動報告

1). 県連安全対策委員会

対象期間の例会、個人山行、自主山行計画を取りまとめ、以下の会議に出席し他会との意見交換を行いました。

	日時	場所
夏山連絡会	2023年7月13日 19:00～	婦人会館
冬山連絡会	12月14日 19:00～	婦人会館
安全対策責任者会議	未実施	
春山連絡会	4月18日 19:00～	婦人会館

2). クリーンハイク・ワンポイントレッスン

クリーンハイク・ワンポイントレッスン		
2023/5月	6月	7月
簡易ハーネス	ツェルト設営	テント設営(エスパース)

8月	9月	10月
夏山山行期間	W フィッシャーメンズイベント	アイゼン装着方法
11月	12月	2024/1月
ワカン装着法	ポウラインノット	フリクションノット
2月	3月	4月
全体集会	三角巾の使い方	新人会員歓迎会

3).セルフレスキュー安全講習(年2回)

2023年5月13日(土) 9:00～ 神戸登山研修所で実施しました。

2023年11月11日(土) 9:00～ 神戸登山研修所で実施しました。

4).安全対策部会

今期、部会は未実施です。また事故報告検証会議もありませんでした。

5).全体集会

2024年2月4日 全体集会にて、安全講話(事故・ヒヤリハット報告)を行いました。

6).今期ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット			
逢山峡	2023/07/29	滑落	
事故			
神崎川本流	2023/9/23	転倒	左手首骨折
ガノベ城	2023/11/23	転倒	裂傷・擦過傷
行者尾根ハーブ園	2024/4/6	転倒	肋骨骨折・背中打ち身

※事故4件に関しては県連安全対策委員会・全国連盟に事故報告書を提出済。

※ヒヤリハット報告については、パーティ内での共有を確認してから受領しました。

※今期ヒヤリハット・事故4件は、全国連盟、県連に事故一報を提出しました。

※神崎川本流、行者尾根ハーブ園の事故2件については、労山基金保険申請手続きを行いました。

II. 第45期活動方針

・引き続き、絶対に事故を起こしてはならないという観点から、安全登山を全会員一丸となって推進していきます。

・年2回、セルフレスキュー講習会を実施します。

・会員専用掲示板に県連からの注意喚起や事故報告を配信します。

・クリーンハイクでワンポイントレッスンを実施します。またリクエストも受け付けます。

※下記の表は予定です。

クリーンハイク・ワンポイントレッスン(案)		
2024/5月	6月	7月
未実施	ツェルト設営	テント設営(エスパース)
8月	9月	10月
夏山山行期間	W フィッシャーメンズイベント	アイゼン装着方法
11月	12月	2025/1月
ワカン装着法	ポウラインノット	フリクションノット
2月	3月	4月
全体集会	三角巾の使い方	新人会員歓迎会

第2号議案

会費納入ルールの変更

1. 会費納入管理事務負担の軽減のため、半年払いを廃止し、1年分一括払い(年11,000円)のみとする。
併せて、退会時に前納会費3ヶ月分を没収する規定を廃止し、未経過月数の会費を返還する。
これに伴い、会則および内規を改訂する。
2. 会則の改訂(第7条「退会について、次のように定める。」の5.)

変更前	5. 会員が退会するとき、前納3ヶ月分の会費は返還しない。
変更後	5. 会員が退会するとき、前納会費のうち未経過月数の会費を返還する。 但し、12ヶ月分前納の場合、1ヶ月分を控除する。

3. 内規の改訂(第2条)

変更前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入会金は1000円、会費は月1000円とする。 2. 家族会員がある場合、本人の会費は月1000円、家族会員は1人あたり月500円とする。 3. 会費は6月12月に6ヶ月分または12ヶ月分を前納する。 4. 12ヶ月分前納の場合、本人会費を11000円とする。 5. 会費払込み口座は、すずの子5月号、11月号に掲載する。 6. 会員が退会するとき、前納された会費のうち3ヶ月分は返還せず、3ヶ月分を越える金額のみ返還する。
変更後	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入会金は1000円、会費は月1000円とする。 2. 家族会員がある場合、本人の会費は月1000円、家族会員は1人あたり月500円とする。 3. 会費は6月に12ヶ月分を前納する。新規入会の場合、5月分までを前納する。 4. 12ヶ月分前納の場合、本人会費を11,000円とする。家族会員は6,000円とする。 5. 会費払込み口座は、すずの子6月号に掲載する。 6. 会員が退会するとき、前納された会費のうち未経過月数の会費を返還する。但し、12ヶ月分前納の場合、1ヶ月分を控除する。

第3号議案

個人情報取り扱い指針の改訂

10月22日、会事務所に空き巣が入り、パソコンが盗まれた。幸いにも名簿等個人情報文書は盗まれておらず、パソコン内にも個人情報は格納されていなかったが、今回の盗難を機に、名簿については紙で事務所に保管することを廃止する。

これに伴い、個人情報取り扱い指針を変更する。

個人情報取り扱い指針 5. 適正管理

変更前	事務所にある会員名簿は鍵のかかる場所に保管する。
変更後	会員名簿は電子データにアクセス制限付きで保管し、事務所には保管しない。

第4号議案

例会案内新フォーム導入の説明

近年の例会増に伴う機関誌制作に関する作業量の増加のため、多方面での作業負担の軽減をめざし、Googleサービスを活用した例会案内 新フォームを、7月に制作する11月例会案内から導入する。

例会案内登録

ricochan080808@gmail.com [アカウントを切り替える](#)

* 必須の質問です

メールアドレス *

メールアドレス

開催日 *

年は西暦で、曜日の設定は不要です

日付

年 / 月 / 日

泊山行など下山日

日付

年 / 月 / 日

例会案内作成作業の流れ

※赤字が変更箇所

現在	変更後
1. 専門部の例会案内とりまとめ担当者はすずの子掲載期間の担当CLに「例会案内」作成を依頼する。 ※例会案内用Wordファイル送付（編集1ヶ月前）	1. 専門部の例会案内とりまとめ担当者はすずの子掲載期間の担当CLに「例会案内登録」フォームの入力を依頼する。 ※例会案内作成Googleフォームのアドレスを通知（編集1ヶ月前）
2. 担当CLからとりまとめ担当者へ「例会案内」送付。	2. 担当CLが「例会案内登録」フォームから入力。
3. 例会案内とりまとめ担当者が内容を確認し、機関紙部の例会案内編集担当者に送付。（第2週木曜日）	3. 例会案内とりまとめ担当者は「例会案内登録」スプレッドシートで内容を確認し、修正箇所があれば例会案内とりまとめ担当者が修正する。 ※基本的にはフォーム入力時のメールからCL自身が修正を確認後、すずの子掲載期間分のみ「専門部決済欄」で「承認」する。（第2週木曜日）
4. 例会案内編集担当者が、「例会案内」ファイルを一体化し、すずの子編集担当者とHP更新担当者に送付。（第3週木曜日）	4. 例会案内作成担当者が、すずの子掲載期間の「例会案内」PDFを作成し、すずの子編集担当者とHP更新担当者に送付。（第3週木曜日）

第5号議案
44期決算報告

第 44 期 会計報告書

自 2023年5月21日 至 2024年5月20日

一般会計		神戸中央山の会 (単位:円)	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	578,332	連盟費	561,240
会費収入	1,790,000	家賃	516,660
活動収入	163,430	水道光熱費	12,403
その他収入	39,300	事務局費	173,198
預金利息	35	山行部費	150,716
助成金	133,000	ハイキング部費	48,581
預り金	1,000	組織部費	91,988
		教育部費	67,500
		自然保護部費	167,218
		六甲全山縦走	54,461
		その他支出	105,000
		「遺対積立」繰入	38,480
		記念事業積立繰入	200,000
		次期繰越金	517,652
合計	2,705,097	合計	2,705,097

特別会計

遺対特別積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	2,892,540	融資金	
一般会計より繰入	38,480	次期繰越金	2,931,020
合計	2,931,020	合計	2,931,020

友の会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	30,000		
会費		次期繰越金	30,000
合計	30,000	合計	30,000

記念事業積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	350,000		
一般会計より繰入	200,000	次期繰越金	550,000
合計	550,000	合計	550,000

自動車修理積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	140,100		16,500
会費	24,000	次月繰越金	147,600
合計	164,100	合計	164,100

資産の内訳

(手許)		(内訳)	
現金	13,158	遺対特別積立金繰越	2,931,020
郵便貯金	3,663,114	友の会繰越	30,000
定期預金	500,000	記念事業積立金繰入	550,000
		自動車修理積立金	147,600
		一般会計繰越	517,652
計	4,176,272	計	4,176,272

(家賃保証:連盟積立金)

差入保証金	80,000
	0

合計	4,256,272
----	-----------

会計監査報告

監査日時 2024年5月27日 会事務所
監査結果 帳簿等を精査の結果、正常である事を認めます。

氏名 白川英夫 

氏名 都司元晴 

45期予算案

第 45 期 予算案

自 2024年5月21日 至 2025年5月20日

一般会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	517,652	連盟費	566,880
会費収入	1,660,000	家賃	516,660
活動収入	55,000	水道光熱費	14,000
夏山登山教室	20,000	事務局費	110,000
預金利息	30	機関誌部費	0
助成金	133,000	山行部費	60,000
全縦	44,000	ハイキング部費	60,000
		組織部費	30,000
		教育部費	100,000
		自然保護部費	30,000
		森守ボランティア	133,000
		安全対策部費	13,000
		全縦	64,000
		「遭対積立」繰入	40,800
		記念事業積立繰入	200,000
		次期繰越金	491,342
合計	2,429,682	合計	2,429,682

特別会計

遭対特別積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	2,931,020	融資金	0
一般会計より繰入	39,840	次期繰越金	2,970,860

友の会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	30,000		
会費		次期繰越金	30,000

記念事業積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	550,000	45周年記念行事	184,000
一般会計より繰入	200,000	次期繰越金	566,000

自動車修理積立金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前月繰越金	147,600		
積立		次期繰越金	147,600

総会欠席

欠席の場合は必ず委任状を提出してください。

期限は6月12日(水)までです。

提出先は事務局長宛 Webフォーム、メール、手渡し、郵送でお願いします。

Webフォームにアクセスしてください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSflzVYaBbajlAx8lGwFtldA4B3uuS0IoB5xERDAU2aj3HaEqQ/viewform>



メールアドレス kcac1980.info@gmail.com

郵送の場合は会事務所

〒650-0022 神戸市中央区元町通7丁目1-6 日光ビル201号

資料室UP

5/28付でホームページ資料室に議案書をアップし、ダウンロードできるようにします。

-----切り取り-----

委任状

私は神戸中央山の会45期定期総会における全ての議題及び議決についての権限を、議長に委任いたします。

2024年 月 日

氏名: